

令和7年度全国学力・学習状況調査における
新潟県立中等教育学校の結果について

1 教科に関する調査結果

国語・数学の平均正答率及び理科の平均 IRT スコアは、以下のとおりである。

	国語	数学	理科
新潟県立中等教育学校(A)	64%	66%	542
新潟県公立中学校・中等教育学校(B)	54%	46%	498
全国公立中学校・中等教育学校(C)	54.3%	48.3%	503

※ 平均正答率は、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、文部科学省からは、小数点以下を四捨五入した整数値で結果が提供されている。なお、県立中等教育学校の平均正答率においても、文部科学省と同様に整数値で結果を示している。

※ 理科は、平均 IRT スコアを示している。IRT とは、国際的な学力調査や英語資格・検定試験で採用されているテスト理論であり、異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じ尺度で比較するためのものである。

- 新潟県立中等教育学校(A)は、新潟県公立中学校・中等教育学校(B)と比べて、国語で10ポイント、数学で20ポイント、理科で44点、それぞれ上回っている。

2 質問調査結果のうち特徴的な項目

- (1) 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という質問に対して、「2時間以上」と回答した生徒の割合

新潟県立中等教育学校	新潟県公立中学校・中等教育学校
47.0%	28.3%

- ◎ 新潟県立中等教育学校は、新潟県公立中学校・中等教育学校と比べて、18.7ポイント高くなっている。

- (2) 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」という質問に対して、「できている」と回答した生徒の割合

新潟県立中等教育学校	新潟県公立中学校・中等教育学校
35.2%	31.7%

- ◎ 新潟県立中等教育学校は、新潟県公立中学校・中等教育学校と比べて、3.5ポイント高くなっている。

- (3) 「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」、「今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか」という質問に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した生徒の割合

教科	新潟県立中等教育学校	新潟県公立中学校・中等教育学校
国語	82.8%	65.5%
数学	71.8%	52.3%

- ◎ 新潟県立中等教育学校は、新潟県公立中学校・中等教育学校と比べて、国語で17.3ポイント、数学で19.5ポイント、それぞれ高くなっている。

3 結果の分析と今後の対応

- ・ 各学校の丁寧な指導と生徒の努力により、一定の成果があらわれている。
- ・ 家庭学習習慣を身につけており、学習内容の定着を図ることができている。
- ・ 問題に対して自分で考え、解決に向けて取り組む姿勢があらわれている。
- ・ 引き続き、学習指導要領の趣旨を踏まえ、ICTも活用して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、探究的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力等を育成することができるよう、指導の工夫を図っていく。